

松高小便り



松高小HP

八代市立松高小学校
学校便り 第9号
令和7年12月24日発行
文責 村山

葛藤を乗り越え、共に「しなやかな心」を積む

日ごとに寒さが増してまいりましたが、保護者の皆様や地域の皆様におかれましては、今学期も本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

子供たちの様子を見ていると、学校生活という小さな社会の中で、一生懸命に自分を表現しようとするエネルギーを感じます。その一方で、意見の食い違いや、感情のコントロールがうまくいかずにつかり合う場面も増えています。

こうしたことが増えることは、一見するとネガティブなことに思えるかもしれません。しかし、私たちはこれを「子供たちが一歩大人になるための、大切な成長のプロセス」であると考えています。

失敗し、悩み、相手の痛みを知る。この経験こそが、将来、社会で生きていくための「しなやかな心」を育む糧となります。

学校では現在、一つ一つの事案に対して、教職員が一丸となって丁寧に向かい、子供たちが自ら気づき、考え、行動をえていけるような指導に注力しております。「学校と家庭は、子供の成長を支える車の両輪」です。気になることがあれば、いつでも遠慮なく学校へご相談ください。手を取り合い、子供たちがより良い明日を迎えるよう、共に歩んでいけば幸いです。

2学期の頑張りに拍手

8月25日から始まりました「2学期」も、本日24日で終わります。ちょうど4ヶ月の期間となります。今年は暑い期間が長く続きましたが、大きな事故やけがもなく終えることができ、うれしく思っています。2学期の間に、学習や行事で多くを学ぶことができました。

6年生の長崎修学旅行。フィールドワーク等で戦争の愚かさを学び、ハウステンボスで楽しい思い出ができました。5年生の集団宿泊教室。ペーロン等の体験や宿泊などから、学年のつながりが強くなったと思います。

3、4年生の社会科見学旅行や1、2年生の探検など、直接見たり聞いたりして多くを学んだと思います。学習面は、一つ一つの積み重ねが大切です。

また、2学期は、学校内でのいさつが、それも「お先に」いさつする児童が増えました。児童会のみなさんが、松高小の挨拶が広がる取組をしてもらい、大変うれしく思います。

ご家庭ではお子様のいさつはいかがでしょうか。子供たちには将来きっと役立つ「いさつ」を休みの間も取り組んでほしいと思います。

さて、明日から冬休みです。休み期間中も、ルールを守り安全に過ごすことや、家族の一員として、家の手伝いなどをしながら、お正月を迎えてほしいと思います。

1月8日に、子供たちと元気に会えることを楽しみにしています。

